学校番号	３０９

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	現代文Ｂ　（教育出版）						
副教材等	・ビジュアルカラー 国語便覧　（大修館書店） ・図でつかむ リード現代文　３（啓隆社）・入試漢字 コア 2800　（桐原書店） ・日本文学史 要点チェックノート　（文英堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・さまざまな評論や小説を進んで読み、ものの見方や考え方、感じ方を深めていきましょう。
・自ら考えたことや感じたことを適切に表現できるようにしましょう。
・発問に対しては考えたことを積極的に発表しましょう。
・提出物は期限を守って提出してください。また、定期考査は授業後の復習を大切にして臨みましょう。

2　学習の到達目標

・言語感覚を磨き論理的な思考力や豊かな想像力を身につけ、場面に応じて活用することができる。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を読み取り、理解することができる。
・人間関係において互いに尊重し、相互理解を深め正しく意思を伝え合うことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、プリント等）	行動の観察	記述の確認及び分析（ノート、プリント、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ノート、プリント） 定期考査	記述の確認（ノート、プリント等） 小テスト 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想(一)	教材: 「同情トイフコト」 大江健三郎	○	○		◎	○	a:随筆の特質を理解し、読解力を向上させる。 b:「同情」という言葉の意味を読み取り、人間の生および文学における想像力について考える。 d:論の構成、展開に沿って内容を理解し、筆者の考えを的確に読み取っている。 e:語句の意味やはたらきを理解している。	a、b:行動の観察及び記述の点検 d,e:記述の確認及び分析、定期考査
	小説(一)	教材: 「美神」 三島由紀夫	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:登場人物の行動を通してその心情を理解しようとしている。 e:語句の意味を理解し、主人公の心情の変化を正確にとらえている。	a:行動の観察及び記述の点検 d,e:記述の確認及び分析、定期考査
	評論(一)	教材: 「虚構のリアリズム」 岡　真理	○		○	◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、論じられているテーマについて関心を持って考察しようとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 d:論の構成、展開に沿って内容を理解し、筆者の考えを的確に読み取っている。 e:語句の意味やはたらきを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 c:記述の点検及び確認 d,e:記述の確認及び分析、行動の観察、定期考査

	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
2学期		教材: 「地図の想像力」 若林　幹夫	○			◎	○	a:文章の論理構造に着目して表論文を読み解く力を養おうとしている。 d:文章の構成や展開を的確に読み取り、理解を深めている。 e:言葉の使い方や論の進め方の効果について理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d，e:行動の観察、記述の確認及び分析、定期考査
	小説(三)	教材: 「舞姫」	○			◎	○	a:「近代文学の古典」と位置づけられる優れた作品を通して、人間としての生き方、恋愛のあり方などという普遍的な宿命について考えを深めようとしている。 d:作中の人物の境遇や性格、心理を正確に把握する。 e:語句について文脈に即した意味や用法を正しく理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 c:記述の確認及び分析(原稿用紙) d，e:記述の確認及び分析、定期考査
3学期	評論(四)・表現	教材: 「〈私〉はどこへ行く？」 「相互に評価して小論文の構成を考えよう」	○			◎	○	a:評論文の読解を通して、現代社会の現状を客観的に分析する思考を養おうとしている。 d:社会生活の中から課題を見つけ、小論文を書く。 e:語句の意味やはたらきを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d，e:記述の確認及び分析、定期考査

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。